



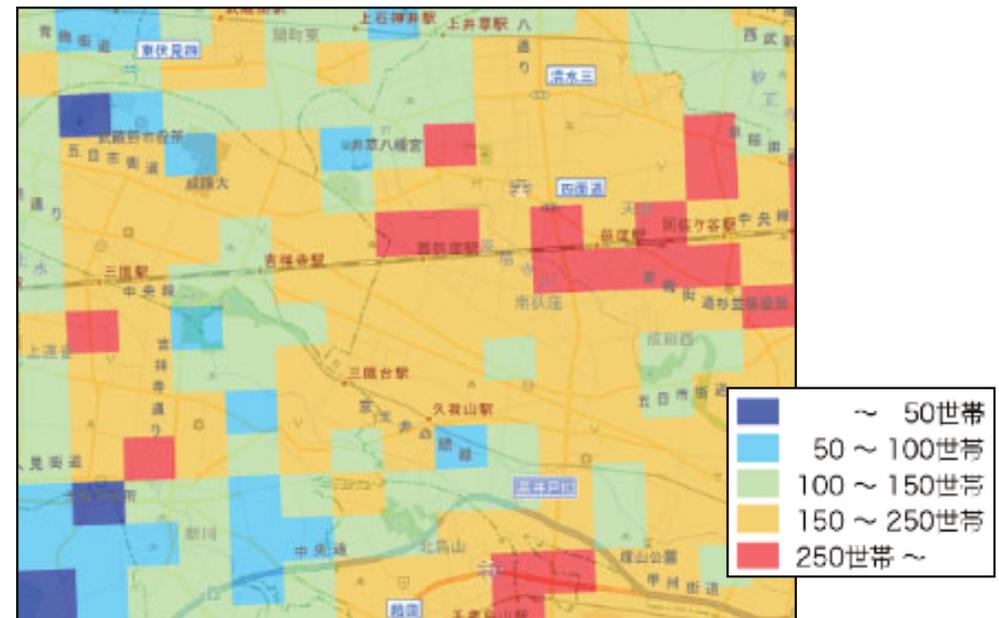
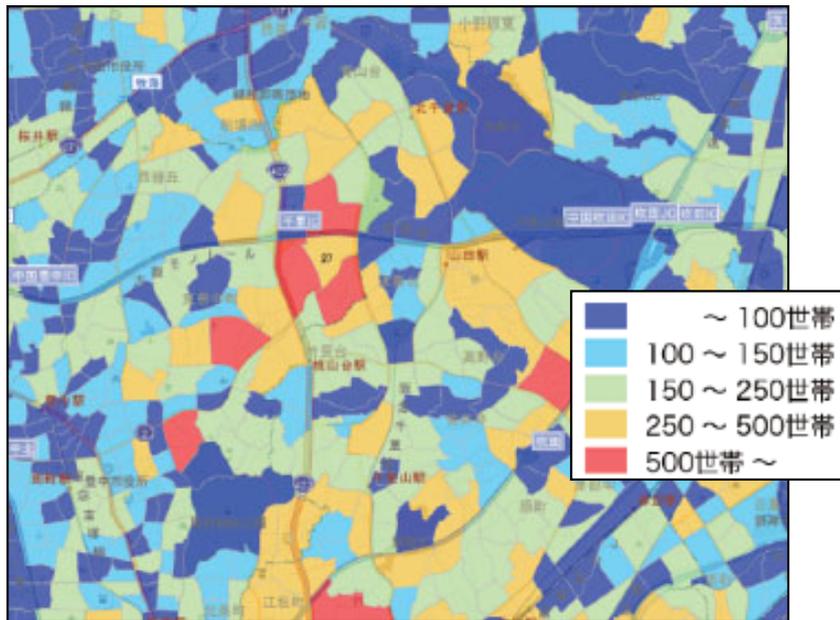
Surveying the Earth to Create the Future

MarketPlanner用オプションデータ
年収別推計世帯数データについて

年収別推計世帯数データとは？

年収別推計世帯数データは、ターゲットとなる年収層の世帯がどこに多いのか、国勢調査町丁字等单位、またはメッシュ(1km および500m)単位で把握することができる推計データです。

年収300～500万円世帯(町丁字)



年収1000～1500万円世帯(500メッシュ)

データ概要

データ概要	国勢調査と住宅・土地統計から推計した年収階級別の推計世帯数データ
集計単位	国勢調査町丁字等別界、 または、500mメッシュ／1kmメッシュ
データ整備範囲	全国
データ項目	世帯数、年収200万円未満／200～300万円／300～400万円、400～500万円、500～700万円、 700～1000万円、1000～1500万円、1500万円以上、300万円未満、300～500万円の推計世 帯数、推計平均年収
更新頻度	2～3年に1回
最新版データ名称	R2年収別推計世帯数(町丁字等界版) H30年収別推計世帯数(メッシュ版)
推計に使用したデータ	・平成30年住宅・土地統計 都道府県編(総務省統計局) ・令和2年国勢調査 町丁・字等別集計／地域メッシュ集計(総務省統計局) ※メッシュ版:平成27年国勢調査 町丁・字等別集計／地域メッシュ集計(総務省統計局)
特徴	住宅・土地統計調査の「世帯人員と年収」「住宅の所有形態と年収」「世帯主の年齢と年収」の 傾向を、国勢調査データの世帯人数別世帯数、住宅の所有形態別世帯数等に適用し推計

※推計方法や利用データは、基データの公開項目の変更、市場環境の変化等に応じて、今後、変更や改良が入る場合があります。

活用事例

■ 業務例

- ・メーカー様の小売店向けリテールサポート
- ・小売業様の自社店舗の商圈分析と棚割り検討
- ・小売業様の出店候補地の立地分析

■ 活用目的例

地域特性の把握

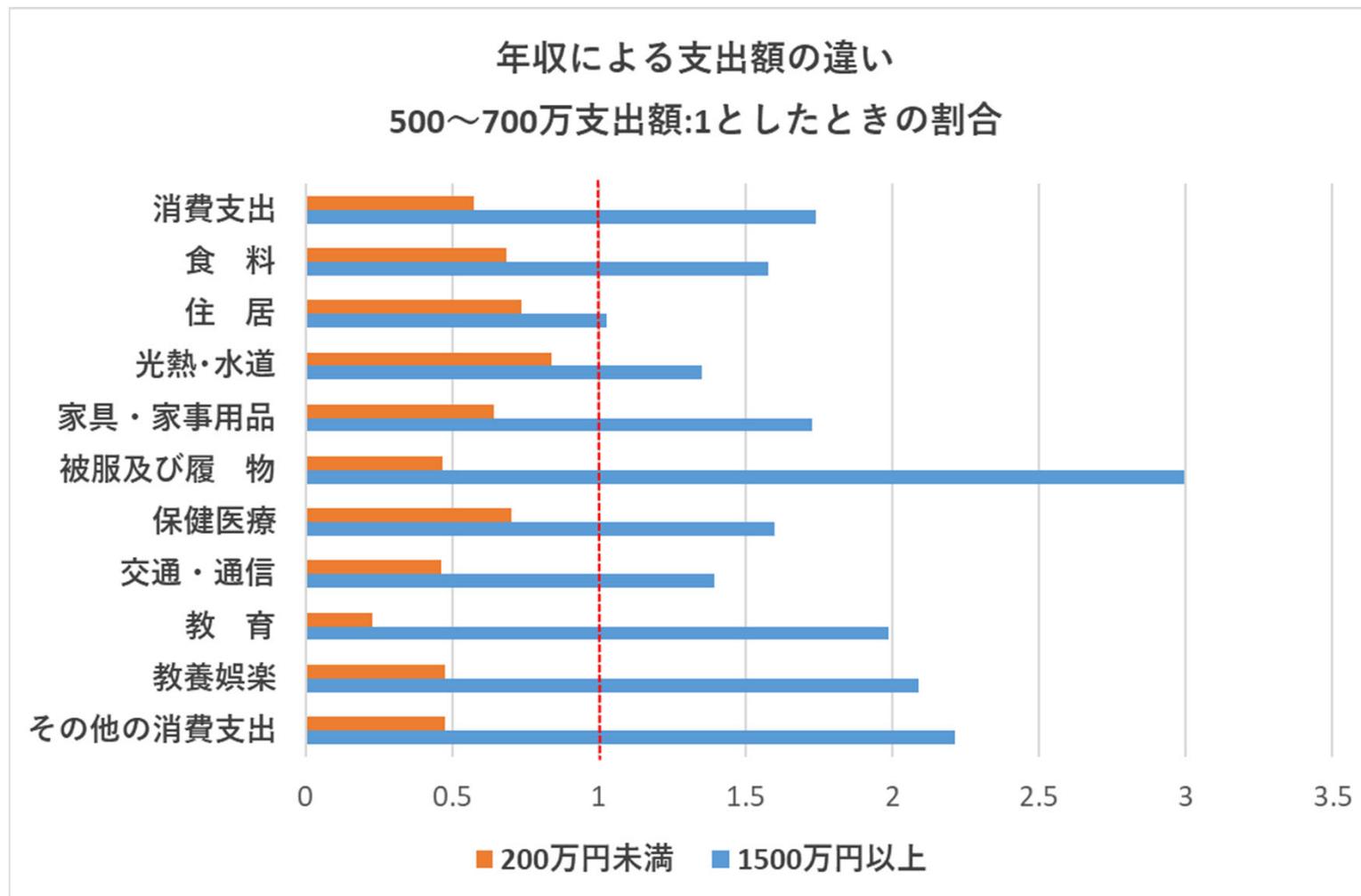


- 高収入世帯の分布が大きく異なる。
- 商品戦略を変える必要がある。



居住世帯数が同じであっても、商圈内の年収構成が大きくことなる場合があります。地域特性にあった商品、サービスの検討にお役立ていただけます。

参考) 統計資料から見た年収と支出



出典: H26全国消費実態調査、二入以上世帯 年間収入階級, 品目別1世帯当たり1か月間の支出を基に加工

H26全国消費実態調査によると二人以上世帯の世帯年収の平均は639万円。
年収1500万以上世帯では、被服及び履物の支出額が年収500~700万世帯の3倍